

20180330 版

湯川秀樹「研究室日記 昭和廿年九月～昭和廿一年一月 XI」(s04-19-15)の一部

昭和廿年

11月1日(木)

登校

11月2日(金)

上田登美子退職、上田千栄子代りに就職

午後三回生演習. Slater Chap. III 太田君

11月3日(明治節) 4日(日)

二日続きの休み. 三日午後 岡崎つるや
へ澄子と 野口、二宮両家婚礼に招かれる
竹上氏夫妻媒酌、主賓として乾杯をさせられる.

11月5日(月)

登校、今日から一週間物理一回生 二回

生 栄養回復のため一週間休み

一日づけて 内田・田中・木村三君教授とな
る

11月6日(火)

登校 午後 岩雄氏来室 神殿町宅

に宿泊 河合さんに上京切符買って貰ふ

11月7日(水) 曇 後 小雨

朝 駅に行き、指定券購入. 登校

午後 岩雄氏去る

午後六時八分の汽車にて上京、仲々混んでいる.
折悪く客車の窓硝子のない所多く、冬外套の襟を
立て、寒気をこらえる.

11月8日(木)

朝七時東京駅着、寒風が吹いて本当の冬
景色。直ちに赤坂の和田小六氏邸に行く
それより 文部省へ同道 前田多門文相及び
田中耕太郎学校教育局長に面会
昼過ぎ 東片町に行き昼食後 大倉邸に行き
三時頃辞去 東片町に帰り、一泊

11月9日(金)

昨夜から胃が痛む、朝五時起床
7時25分 東京駅発列車に乗る。どうやら座
れる。矢張り窓硝子のない所多く寒い
夜9時17分京都駅着、10時過ぎ無事帰宅。

11月10日(土)

登校
午後 理論談話会 再開
素粒子論第一回
小林稔君、陽電子の理論と素粒子の自己
エネルギー □ 重粒子の電磁気能率
(岡島氏、八束氏 来室)
金井英三君
擬スカラー場 Weisskopf 陽電子論

11月11日(日)

朝より午後にかけて岩波“世界”正月号の原稿を書
く。
五時 坂田君、井上健君来宅、夕食を共に
す

11月12日(月)

登校、午後文学部に行き西谷、高山
両氏に会う。晩つるやにて科学学級父
兄謝恩会。駒井、木村、矢田部諸教授 □浦氏出席

11月13日(火)

登校

午後 森岡氏来室、三時 大徳寺前駅に下りる
田中秀雄氏、待鳳校長 塩尻氏等出迎へ
待鳳校にて高等一二年生に講演、夕食
を招ばれて帰宅。
七時頃 神戸、川崎氏来宅、 続いて谷川氏
夫妻来宅、九時辞去

11月14日(水)

登校 石原、森岡両氏来室、中市氏来室
午後講義. 斎藤氏来室

11月15日(木)

少し頭痛、腹痛、風邪気で学校を休む。

11月16日(金)

朝 書物一部 学校へ運ぶ準備
登校、進駐軍将校2名来室
午後 三回生演習. Slater Chap. IV
前川君
晩 辻に行く

11月17日(土)

午前 三回生演習 Fermi, Q. T. of Rad.
津田君、渡辺君
午後 高山氏の部屋に行く. 京都母上三回忌にて黒谷に行く。

11月18日(日)

午後 近畿ペン倶楽部の会にて 西本願寺 飛雲閣に行く
藪内宗匠の手前にて抹茶を頂き、土井氏の説明にて
雪柳の襖(渡辺了慶筆?)を鑑賞. 茶室を拝見
三階まで上る 大勢上ったので少し揺れみる
五時頃辞去、満月美し

11月19日(月)

登校
午後 散髪

11月20日(火)

登校

11月21日(水)

登校、午後量子力学講義の後、高山、木村、その他
文学部諸氏と会談。晩 足がぐぜって [ねじって] くるぶし
を痛める。

11月22日(木)

朝早く登校、九時過ぎ F. Zwicky 教授来室
cosmic ray の origin の問題、expanding
universe の問題等を論ずる。午後一時より
評議会に初めて出席。鳥養総長にな
ってから初めての会、終って又教室で
Zwicky 教授と原子爆弾のことなど論ずる。

11月23日(金)

休日。

11月24日(土)

午後 登校 朝永君来室
理論談話会 荒木源太郎君 終戦後第二回 応用量子力学論第一回
Slater-Pauling の方向原子価
[以下 3 ページ半にわたり式とグラフ]

11月25日(日)

芳樹兄 来宅。晩帰京。

11月26日(月)

登校、午後 教授会
新村猛君来室

11月27日(火)

登校、春洋、高秋 2人共 風邪 発熱

11月28日(水)

登校、午後講義

11月29日(木) 朝6時大分寒くなる、晴天、

登校

午後一時教室会議

午後三時理学部長代理にて部局長会議、中国学生懇談会に出席

11月30日(金)

雨 登校 午前 佐々木教授、午後 児玉教授

を訪問

12月1日(土)

澄子 竹田悦子女史の告別式に行く

朝、三回生演習 Fermi, Radiation Theory

真道君

午後 二時 理論談話会 素粒子理第二回

鈴木坦君、相互作用の取扱い方に就いて

プログラム I, 力学の公理系

1, 因果律 Painlevé

2, 相対論

3, 鈴木説

II, 力学の形式

1, Stueckelberg, H. P. A. 15 (1942) 23

2, Einstein, Infeld, Hoffman, Ann. Math. 39 (1938)

Infeld, Physical Rev. 53 (1938) 836

3, Einstein, Rosen, Phys. Rev. 48 (1935) 73

4, Dirac, Stueckelberg, H. P. A. 14 (1941) 51

Proc. 167 (1938) 48

17 (1944) 3

III, 相互作用の取扱い

1, Wentzel の方法

12月2日(日)

朝、澄子を連れて桂離宮拝観

午後 帰宅. 大倉別邸より電話あり. 高松宮

殿下より御陪食を賜う、九時帰宅

12月3日(月) 朝五度 大変寒い

朝 川崎近太郎来室

続いて 関戸彌太郎君 泰さんと来室

午後一時 関戸氏に **negative Proton** の話を
して貰う。

Sekido, Asano, Masuda: **Cosmic Rays on
the Pacific Ocean, Part I Latitude
Effect.** Sc. Pap. Inst. Phys. Chem. Res.
48 (1943) 439

[以下 1 ページ半 省略]

晩 教室懇親会 魚末にて

12月4日(火)

朝十時過家を出て奈良に行く。女高師にて文化講義。
夕刻帰宅

12月5日(水)

登校、午後講義

12月6日(木)

登校、午後一中にて特別科学班の会

晩 矢尾政にて 木村、本田両氏と科学班父兄の招待
会に出席

12月7日(金)

登校、午後三回生演習

Slater Chap IV 続き 田中一君。

12月8日(土)

登校

12月10日(月)

登校、晩 河合氏夫妻と会合
喜多名誉教授来室

12月11日(火)
登校.

12月12日(水) 初雪降る、朝 四度半
登校、堀尾・俣野・野津・杉野・藤田・梅原
井上、八束 諸氏 相継いで来室
午後 量子力学特論

12月13日(木)
登校、朝 マッカーサー司令部よりサイクロトロン破壊に
関し 意見徴取〔聴取〕に来る。駒井・荒勝 両教授と共に面会。
午後 評議会。
三時過ぎより教室相談

12月14日(金)
登校
午後四時岡崎つるやにて秋田屋「哲学季刊」創刊祝賀会。

12月15日(土)
朝 物理教室サイクロトロン破壊に来て居た第六軍の
将校引揚の挨拶に来る
午後 理論談話会 化学物理部第二回。
鳴海元君 疑似断熱系反応の取扱ひに
充て

[以下] 2ページ近く省略]

複分解反応

12月16日(日)
午後 早々 金剛能楽堂に行き 楊貴妃、□り、熊坂
を見る。
戦争犯罪容疑者近衛公今早朝 服毒自殺

12月17日(月)

登校、今日から明年二月十五日まで冬季休学
午後 Whittaker, History of the Theories of Ether
and Electricity 輪講第一回. 鈴木君 Chapt I
出席者 高山 上田、大島 諸氏. 細江、鳴海、江夏
広石、丹羽

12月18日(火) 昨夜より風強く、今朝は大変寒い。雪降る。

朝省線にて神戸に行く、駅頭に神戸市の川崎武夫氏、近藤
文雄君出迎え 菊水国民学校にて「現代の物理
学」と題して講演。

帰途阪急にて苦楽園に行く 母上は長野から
帰られ、荷物も昨日着いた所、本館の大部分は谷
一郎氏一家に貸してあり、却々<なかなか>賑やか 風
強く、電灯消える。苦楽園に一泊

12月19日(水)

昼食まで苦楽園に居る。十二時過ぎ辞去。
四時半帰宅。

12月20日(木)

登校

12月21日(金)

登校

12月22日(土)

登校

12月23日(日) 一

12月24日(月)

登校。午後 教授会。
一晚中停電。電熱使用者激増の影響である。

12月25日(火) クリスマス、大正天皇祭.

岡崎つるや 秋田屋主催 吉井勇氏歓迎会に出席. 大山、八木、齋藤

大塚 同席. 澄子も野村さんの送別会にて

同じくつるやに会合

12月26日(水)

登校. 朝 総長室にて文部省科学教育局第一部長

清水□二氏と面会. 午後教室相談.

12月27日(木)

登校.

12月28日(金)

登校

12月29日(土)

登校 文学部に行き高山氏に会ふ

晩 畑かくにて哲学科忘年会に出席

12月30日(日)

晩 鳴滝に行く、高山、□ 西田哲学読み出す.

12月31日(月)

澄子数日前より風邪、熱8度3分あり

晩、度々停電する